学術コミュニケーションの動向

杉田茂樹（京都大学附属図書館）
学術コミュニケーション技術セミナー
令和2年10月26日
オープンアクセスリポジトリ推進協会

自己紹介

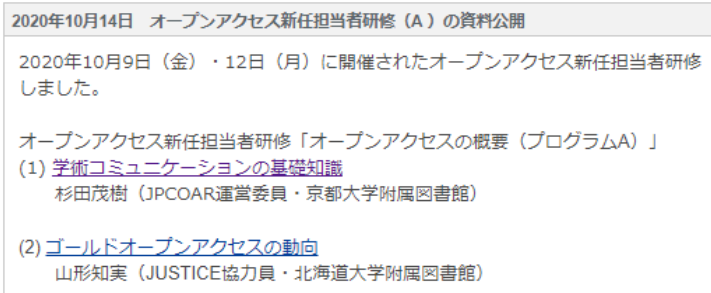
- 大学は文学部
  （理系のまともな研究論文を見たことがない）
- 1993 北大図書館に入職（雑誌担当係）
  （届いた雑誌に日付シールを貼って書架に並べるなど）
- 2005 何回かの異動ののち、北大図書館でリポジトリ業務
  （いろいろなことがよくわからない）

本日の内容

- 学術情報流通の進展
- 電子的学術情報流通が
  もたらした変化

（参考）

- 学術雑誌とはどういうものか
- 論文とはどういうものか


2020年10月14日　オープンアクセス新任担当者研修（A）の資料公開

2020年10月9日（金）・12日（月）に開催されたオープンアクセス新任担当者研修
しました。

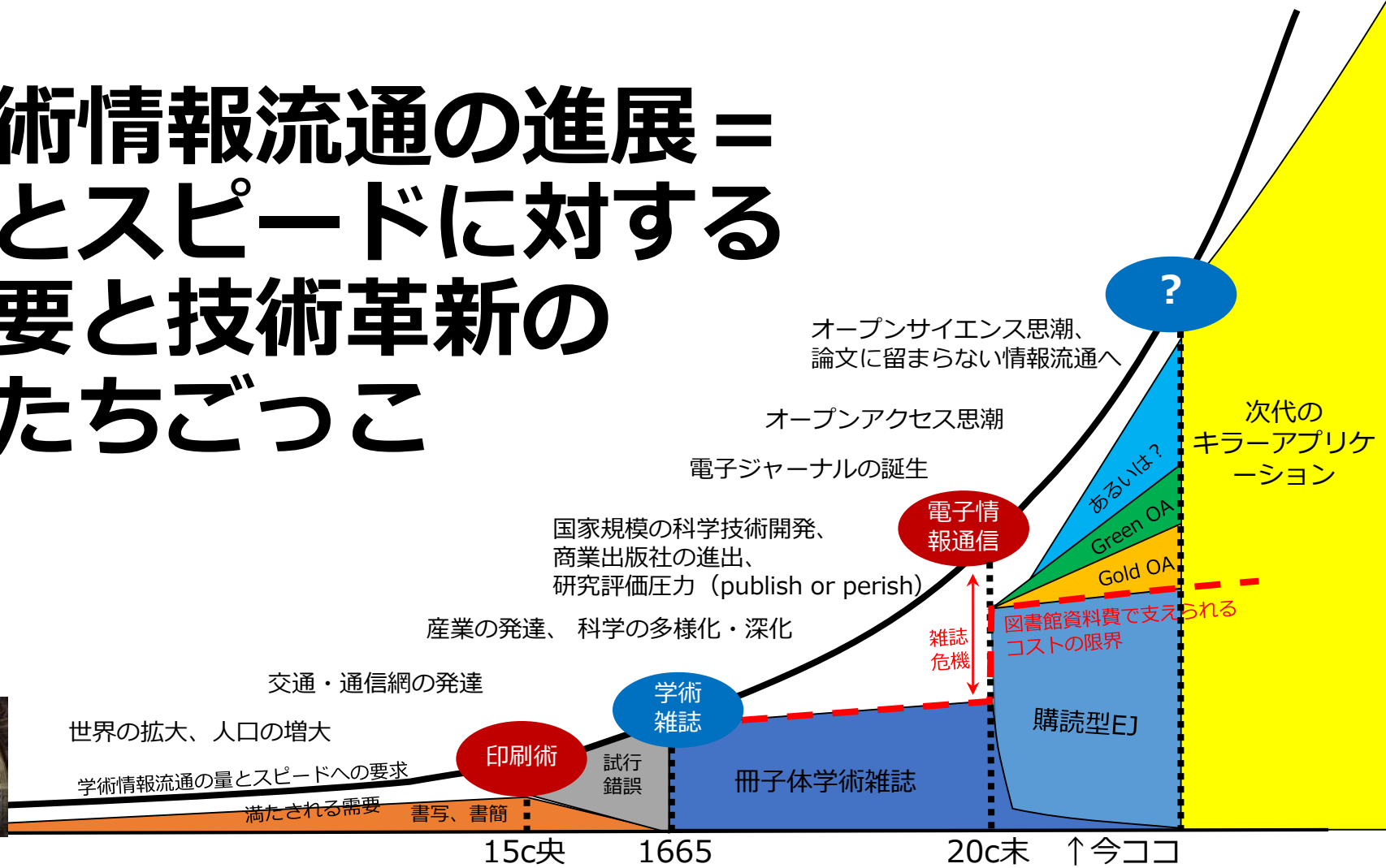
オープンアクセス新任担当者研修「オープンアクセスの概要（プログラムA）」
(1) 学術コミュニケーションの基礎知識
杉田茂樹（JPCOAR運営委員・京都大学附属図書館）

(2) ゴールドオープンアクセスの動向
山形知実（JUSTICE協力員・北海道大学附属図書館）



学術情報流通の進展＝量とスピードに対する需要と技術革新のいたちごっこ

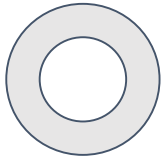




需要があって技術革新は生まれる



ウェブの発明にともない、
学術情報も電子的に流通
するようになった



学術情報を流通させるため、
ウェブが発明された

Cf. Tim Berners-Lee, **CERN** (1989). Information Management: A Proposal

図書館は何をしたか



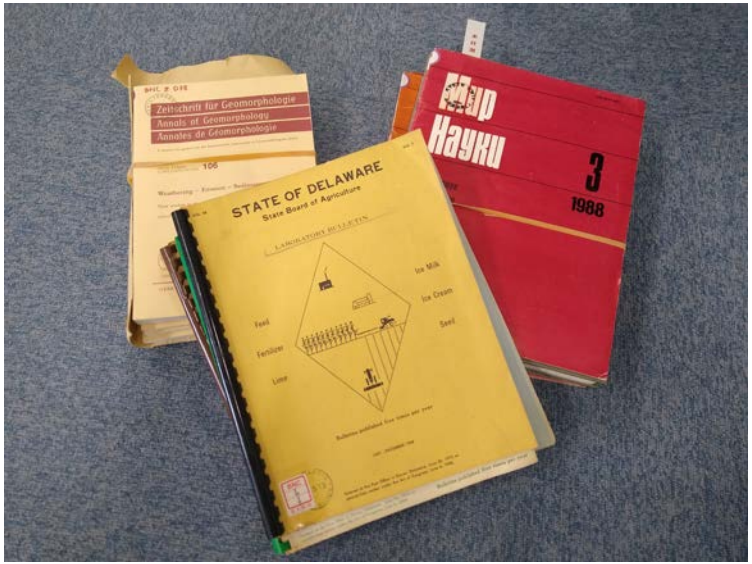
項目名（画面項目名）	繰り返し	記述文法及び記述例
出版・頒布等に関する事項（PUB）	R (4)	1) 出版地・頒布地等、出版者・頒布者等、出

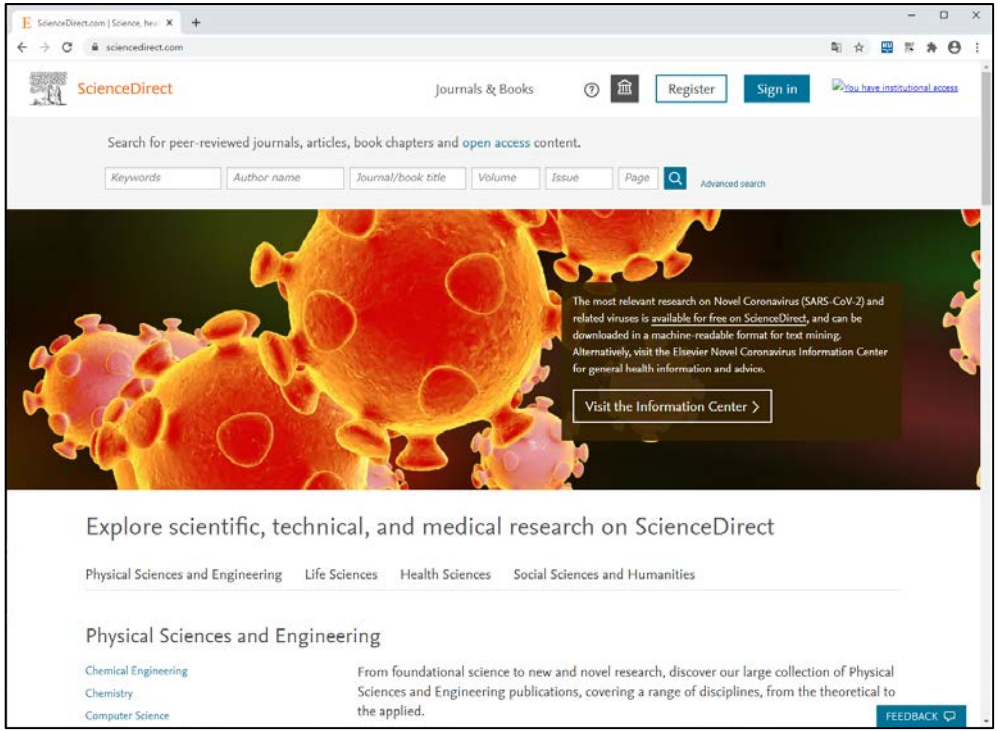
出版地・頒布地等 △：△ 出版者・頒布者等 △，△ 出版・頒布等の日付

※上記の文法で出版・頒布等の日付が選択的であるのは、複数のPUBフィー
を想定しているためであり、PUBフィールドが1つの場合は必ず記述する
の場合においても同様である。
規定の情報源以外から得た情報を記述する場合は、隣り合っているデータ要
別々の角括弧([ ])に入れる。以下、2)～5)の場合においても同様である。

(例) New York : AMS Press , 1988
(例) [S.l.] : [s.n.] , c1971
(例) Paris : Galerie Fanny Guillon Laffaille
Bonn : Galerie Christoph Rudelle , [1987]

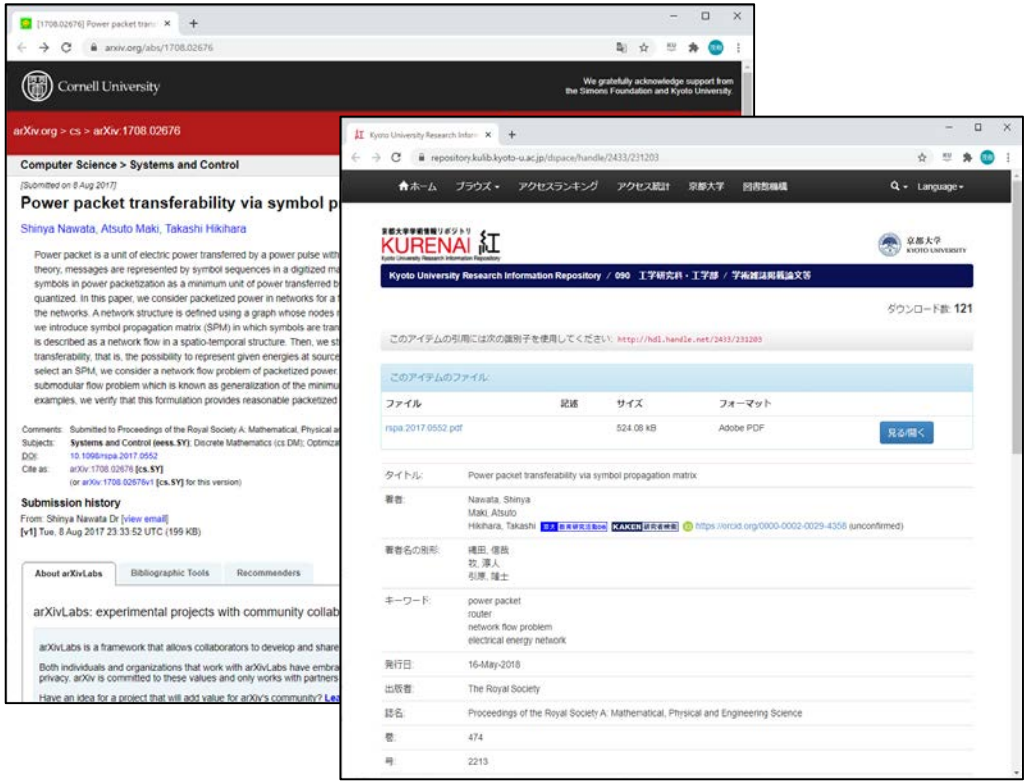
出版社は何をしたか


Zeitschrift für Geomorphologie
Annals of Geomorphology
Annales de Géomorphologie
STATE OF DELAWARE
State Board of Agriculture
Hayku
3
1988

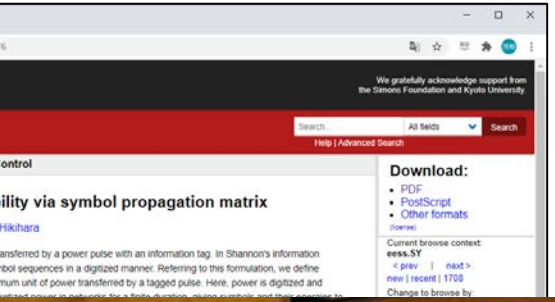

ScienceDirect
Journals & Books
Register
Sign in
Search for peer-reviewed journals, articles, book chapters and open access content.
Keywords
Author name
Journal/book title
Volume
Issue
Page
Advanced search
The most relevant research on Novel Coronavirus (SARS-CoV-2) and related viruses is available for free on ScienceDirect, and can be downloaded in a machine-readable format for text mining. Alternatively, visit the Elsevier Novel Coronavirus Information Center for general health information and advice.
Visit the Information Center
Explore scientific, technical, and medical research on ScienceDirect
Physical Sciences and Engineering
Life Sciences
Health Sciences
Social Sciences and Humanities
Physical Sciences and Engineering
Chemical Engineering
Chemistry
Computer Science
From foundational science to new and novel research, discover our large collection of Physical Sciences and Engineering publications, covering a range of disciplines, from the theoretical to the applied.
FEEDBACK

研究者の文献共有は

出版前論文の共有
　“プレプリント”
　“ワーキングペーパー”
抜刷の贈呈

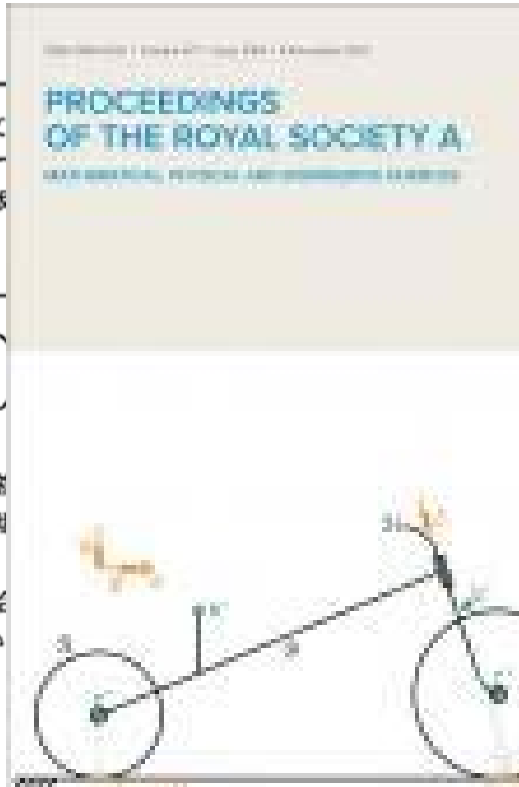


まずは模倣ではじめるしかなかった。が、さまざまな変化が顕在的／潜在的に進行









“学術雑誌の４機能”

それを生み出したのが私だと世界に認知してほしい

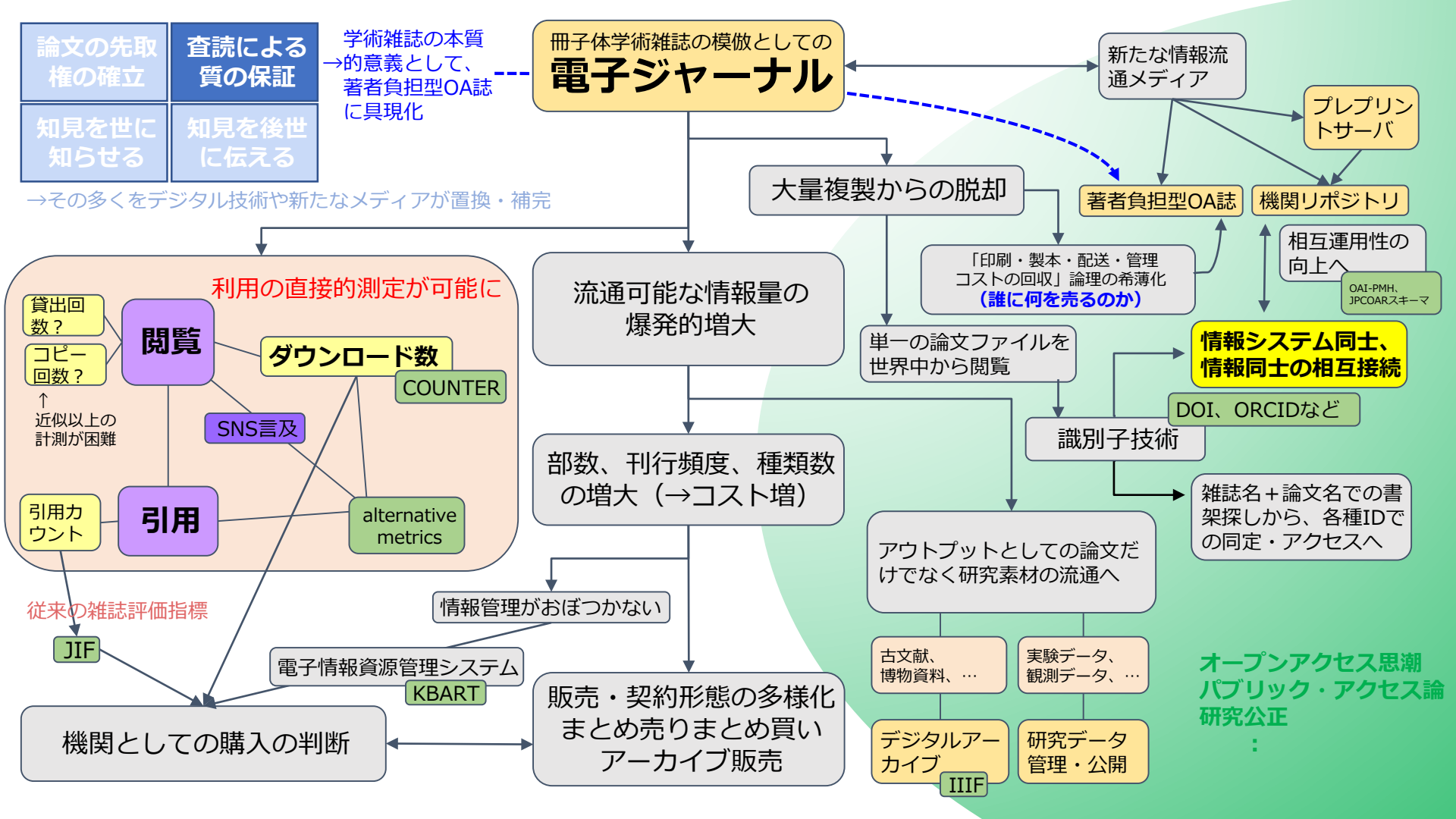
その科学的真価を認めてほしい

論文の先取権の確立	査読による質の保証
知見を世に知らせる	知見を後世に伝える

世に広まってほしい

後世にも伝えたい

ヘンリー・オルデンバーグ氏の書簡（1664～1665）より。同氏は、世界最古の学術雑誌と言われるイギリス王立協会「フィロソフィカル・トランザクション」（1665～）創刊時の事務総長


論文の先取権の確立
査読による質の保証
知見を世に知らせる
知見を後世に伝える
学術雑誌の本質→的意義として、著者負担型OA誌に具現化
→その多くをデジタル技術や新たなメディアが置換・補完
冊子体学術雑誌の模倣としての
電子ジャーナル
新たな情報流通メディア
プレプリントサーバ
大量複製からの脱却
著者負担型OA誌
機関リポジトリ
相互運用性の向上へ
OAI-PMH、JPCOARスキーマ
「印刷・製本・配送・管理コストの回収」論理の希薄化
（誰に何を売るのか）
利用の直接的測定が可能に
貸出回数？
コピー回数？
↑
近似以上の計測が困難
閲覧
ダウンロード数
COUNTER
SNS言及
引用カウント
引用
alternative metrics
流通可能な情報量の爆発的増大
単一の論文ファイルを世界中から閲覧
情報システム同士、情報同士の相互接続
DOI、ORCIDなど
識別子技術
雑誌名＋論文名での書架探しから、各種IDでの同定・アクセスへ
部数、刊行頻度、種類数の増大（→コスト増）
アウトプットとしての論文だけでなく研究素材の流通へ
古文献、博物資料、…
実験データ、観測データ、…
デジタルアーカイブ
IIIF
研究データ管理・公開
従来の雑誌評価指標
JIF
情報管理がおぼつかない
電子情報資源管理システム
KBART
機関としての購入の判断
販売・契約形態の多様化
まとめ売りまとめ買い
アーカイブ販売
オープンアクセス思潮
パブリック・アクセス論
研究公正
：

学術コミュニケーション技術セミナー

10/26（月）オープンアクセス及び機関リポジトリ

（JPCOARスキーマ、OAI-PMH、ResourceSync、IRDB連携など）

11/ 2（月） デジタル・アーカイブ

（IIIF、NDLサーチ、DC-NDL、研究データリポジトリ事例など）

11/16（月）電子ジャーナル・データベース

（COUNTER、Altmetrics、KBART、ERDB-JPなど）

12/ 7（月） 著者名・機関識別子、検索サービス

（DOI、ORCID、e-Rad研究者番号、各種検索サービスなど）